



## 貿易収支の変化と世界の現実

黒田インターナショナル

黒田 毅

アベノミクスから始まる資金の流出は、国内の空洞化への転換を決定したのである。他方においては、アメリカが国内への生産の誘致と次世代基準における社会転換を実現しているのである。

これらは貿易収支に現れる新しい現実を有する。過去における貿易立国は、海外に依存する経済的敗北を現実とするのである。

これは経済における安全保障が、自国経済の健全性を要求することを表す。新しいエネルギーへの転換は未来において予測され、これらは石油産出国がその収入を失うことを与えるのである。

現状の IT 革命と産業革命は、エネルギー革命とともに、ドラッカーのネクストソサエティを現実化するのである。

これらは現状における未来の予測を可能とする。先端技術とシステムはその未来を有するのである。

国内資金の流失は、現状の円安を誘導し、国内における 2 分化された現実を形成する。これらは富における社会の振り分けが存在するのである。

先端技術は、その莫大な資金における新たな開発基準におけるグローバル市場における競争へ転換し、自由貿易システムはそれらに莫大な富を提供するのである。

これらは新たな経済における現実が未来において予測できるのである。アメリカはその先端性において新しい未来の創造を求めているのである。